

# 山陰門推協会報

第 7 号

# ともしび

発行

浄土真宗本願寺派・山陰教区  
門徒推進員連絡協議会

代表者 松浦 靖

事務局住所

〒690-0002 松江市大正町443-1  
本願寺山陰会館内



総会・研修会 (6月19日)

## 内容

- 2頁〜5頁…寄稿、新門徒推進員 紹介
- 6頁〜7頁…新会員の声
- 8頁…同朋の広場、組の活動

## 会長に就任して

山陰教区門徒推進員連絡協議会 会長 松浦 靖

この度皆さまの推薦を受け会長に就任させて頂くことになりました。もとより浅学菲才の身で、その器は持っていないが一生懸命に勤めさせていただけうと思っております。皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。まず出来ることから実践していきたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

さて門徒推進員とは、要綱で親鸞聖人のみ教えに信順し、如来の本願を大地とし、その教法に生きるものの、誇りと喜びの名のりが門徒で、それを継承する一人として、教団の運動に積極的に参加する人を門徒推進員といい、阿弥陀如来の本願を究極の拠りどころとして生きられた親鸞聖人に学び、つねに全員が聞法し全員が伝道して、私と教団の体質を改め、差別をはじめとする社会の問題に積極的に取り組み、御同朋の社会の実現をめざすことで、僧侶、門徒のたゆみない本来化への営みであり教団の基幹運動を僧侶とともに実践する門徒であります。所定の研修を経て、当該教務所長より委嘱された人をいいます。

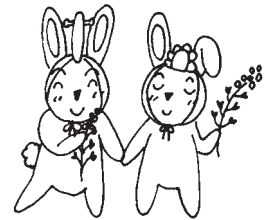
と規定されている通り、私の今後取り組みとして、現在では次のように考えております。まず第一に山陰教区門徒推進員に委嘱された方々を組単位に実情を掌握し活動の輪を広げていきます。特定の人だけでなく一人ひとりが活動できるように、理事や世話人さんと連携を持って、よい雰囲気をつくり、門徒推進員の育成につとめていきたいと思っております。次に所属寺での活動はご住職坊主さまとよく相談して活発におこない、護持発展はもとより、門信徒への手助け等しながら、第一には聴聞、第二、第三とも聴聞をかさね研鑽していきたいと念じております。第三に、自分だけでなく御同朋御同行の精神のもと、門徒推進員の増員につとめ、山陰教区当該寺院では最低一人の門徒推進員を養成させて頂きたいと思っております。是非ともご住職がたのご協力をお願いいたします。いろいろ申しましたが、私一人では到底できません。門徒推進員の方々、および皆さまのご協力ご指導をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

合掌

寄稿

共に歩もう

僧侶の声



国勢調査にみる  
過疎と人口減少社会

邑智西組々長

朝枝弘照

我が国は、いよいよ人口減少社会に突入した。今日まで少子高齢化が進んで、過疎地域に生きる我々は、この先どうなることかと不安いっぱいである。先日、下校途中の子ども達に出会った。「おかえり」と声をかけると「ただいま」と明るい返事がかえってきた。その中の数人は日曜学校に来ている馴染みの子どもであった。別の日、同じ下校途中の子どもに出会い、同じく声をかけたがその子たちは横を向いて無言で立ち去った。後でふと気づいた、その子たちにとって、私は変なおじさんなんだと。いつか、日校に来ている女の子が

携帯用の防犯ベルを見せかけていた。人間不信という言葉がある。これから人の社会はどのように変わるのだろうか、こころ寒い思いを感じた。昨年、推進員の皆様の念願かない『邑智門徒推進員連絡協議会』が発足した。門徒推進員要項の中に、役割と活動という項目がある。自覚をもって寺院、家庭、職場、及び、地域など、日常生活に根ざした活動を展開し、さらに、寺院の教化組織、組、教区の基幹運動推進委員会関係者とともに、基幹運動の推進にあたります、とある。発足した協議会の席で、ある方が、「私たちに出来ることをさせて下さい、私たちはお寺の手伝いがしたいのです」と、勿体ない言葉をいただいた。過疎の地域で、小さくてもいい、少なくともいい、お念仏弘通の責任をあらためて痛感したことでした。これまで、組連研において推進員の皆様にOBとしてご協力いただいた。組では第十四期連研の準備を進めているところです。世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ(宗祖ご消息)、宗祖のお心をいただき、来たる平成二十三年に始まる親鸞聖人七五〇回大遠忌法要をお迎えたいと思っております。

新しく門徒推進員になられた方々

新しく門徒推進員になられた方々を紹介します。

質問

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属寺
- ③門徒推進員としての決意
- ④門徒推進としての現在の活動
- ⑤門徒推進員としての悩み

※掲載順は登録番号順

登録番号399

- ①穴戸芳子(ししどよしこ) ②松江組明宗寺
- ③お寺の諸行事に積極的に参加する。聞法につとめ、お念仏の喜びの輪を広げる。
- ④仏教女性会案内状の宛名書(毎月1回)、清掃奉仕。ボランティア参加。永代経、報恩講の法要案内状の手渡し配布。
- ⑤推進活動の一環として、気楽に話し合える場として環境作りの是非を問い、その目的に向けて完遂する方法の議論を深めていく必要性を感じている。

登録番号400

- ①田原久美子(たばらくみこ) ②松江組明宗寺
- ③ご聴聞を重ね、念仏生活にいそしみます。
- ④毎月の仏教女性会へのご聴聞
- ⑤門徒推進員としての日々が浅く悩みがわかりません。

登録番号401

- ①勇知摂子(ゆうちせつこ) ②松江組明宗寺
- ③先輩と集りを持って協力し合って活動します。
- ④清掃奉仕、各行事案内状配り、通信物の宛名書き
- ⑤門徒推進員がどのような事に携わるのかも知らずに連研、中央研修に参加し、勉強させて頂きましたが、正直なところ推進として今後活動する事が出来るか不安を抱いております。

登録番号402

- ①岸本邦夫(きしもとくに) ②出雲組東林寺
- ③互いを認め合う心を広めます。
- ④仏壇の中での活動と年間法座への協力
- ⑤門推となって10ヶ月特にありません。

登録番号397

- ①原田祐次(はらだゆうじ) ②出雲組妙寿寺
- ③門徒推進員としての自覚を持ち、お寺の諸行事に参加、自ら聴聞に励む。
- ④毎月の諸行事のお手伝い
- ⑤特になし

登録番号398

- ①湯浅きよ子(ゆあさきよこ) ②出雲組妙寿寺
- ③「阿弥陀様のおはたらきにより正しい道を聞きわけて念仏生活にいそしみます。」と決意表明したので朝夕のおつとめをしております。
- ④仏婦会員、お寺の諸行事のお手伝い(年間10回程度の諸行事があり、その準備、片づけ等)
- ⑤子供(娘)が仏壇にお参りしないので、いつになったら手をあわす様になってくれるのか。親の後姿はいつ届くのかなーと、気長に待ちつづける私です。

## 因幡組基推委の現況

因幡組々々

### 山名 法道

今、因幡組は、小学校三年生のような状況になってきました。出雲組を始めとする島根県の門徒さんの活躍にくらべると、やっと一人歩きが出来る位になったと、いうところです。壮年会や仏婦活動は、活発な寺院と、これからですという寺院との格差があります。出来ないところには、さまざまな困難なことがあります、むつかしさがわかります。それでも、壮年部は地味ながら、これからという寺院の方々に働きかけを続け、ここ三年間の間には、三カ寺位は、壮年会が誕生しそうです。仏婦活動はさすがに歴史が古く、組の各寺院とも、活発に教化活動にとりくんでいるところが多くあります。どの寺院とも、若婦の活動に今後とりくもうとしています。

平成十五年度より、因幡組も第二期の連続研修が開催されました。総勢受講者数は八十二名でし

た。修了者は六十五名という成績でした。中央教修にも参加いただき、九名修了されたところです。又、六十五才以上の修了者の、本山での中央教修にも四名参加され、ともに、感動と熱意を持って帰鳥されたところです。

今、第三期の連続研修が開始され、第二期の反省から人数を減らし、四十四名で出発しました。第二期と比較して、平均年齢が、四十歳と、若々しい方々です。因幡組独自のカリキュラムのもとスタッフ一同も、はりきっています。これからの教団は、この活動にかかっています。寺院と門信徒の固い結びつきと、社会への活動、地域と寺院活動の結びつき。青少年へのとりくみなど、やるべきことと、方向性は見えているわけです。あとは、私達一人ひとりの熱情、研鑽、行動、組織づくりにかかっているようです。宗祖聖人、中興蓮如上人の生き方に学びながら、お念佛の歩みを進んでいきたいと思います。

合掌

#### 登録番号407

- ①田中秀男(たなかひでお) ②因幡組光輪寺
- ③寺の行事、研修会等に積極的に参加する。
- ④体の都合がつく限り寺の行事に参加している。
- ⑤寺の行事と地域の行事が集うことがあり、寺の行事に参加できない事がよくある。

#### 登録番号408

- ①三村善信(みむらよしのぶ) ②因幡組光輪寺
- ③聴聞に励み、お寺のニーズに答えてゆく様、心がけたい。
- ④因幡組に於いては、私達が始めての新入会員で組長と具体的な活動について協議中
- ⑤上記の状態で未だ悩みとなる事由は発生していません。

#### 登録番号409

- ①足利八千代(あしかがやちよ) ②因幡組願正寺
- ③寺院での活動に協力しお念仏の喜びの輪を広げ、ともに歩んで行きたいと思ひます。
- ④寺院での研修会、講座活動又、婦人部の活動のお手伝いをさせて頂いています。
- ⑤中央研修を受め、呼びかけが必要と思ひ、声かけをしていますが年齢の事もあり呼びかけがむずかしい。

#### 登録番号410

- ①小谷弥生(こだにやよい) ②因幡組願正寺
- ③子供早起き会のお手伝い
- ④我が家の孫2人お世話になった早起き子供会9年間でした。今年三月で下の孫が卒業し、淋しく思ひましたが、お手伝いすることが出来うれしく思っています。小さい子供達の合掌する姿、いつまでも続いてくれることを念じます。
- ⑤子供の少子化で悩んでいます。

#### 登録番号403

- ①鎌田晃一(かまたこういち) ②神門組明顕寺
- ③私は、阿弥陀如来さまの光を見出す努力をいたします。
- ④特に積極的に活動しているわけではありませんが、折りにふれ周りの人に浄土真宗の話をしています。
- ⑤理想と現実との大いなるギャップ。

#### 登録番号405

- ①中村 宏(なかむらひろし) ②因幡組浄宗寺
- ③御恩報謝の御教を学び取り、もし、こんな私が自分の体験から、同じ苦しみをされている人と共に御仏の御教を深めて行きたいと存じます。
- ④現役で仕事していますので、仕事の傍らで、出会った人と御仏の大慈悲と御恩を頂いている事などを話しています。
- ⑤現在、門徒推進員として、全力で働けない事もあり、又、自分自身が未熟者のため、まだまだ、活動らしい事が出来ない事、申し訳ない事と思っております。

#### 登録番号406

- ①池本 淳(いけもとすなお) ②因幡組光輪寺
- ③報恩感謝の心で過せるようつとめていけるように
- ④“完璧でなくていい、今私に出来ることは”を思いながら行動します。
- ⑤因幡組での初の推進員であり、19ヶ寺の住職さん方との対話から役割りを見出すことができていないと思ひます。共通のテーマで役割り分担で取組む活気がほしくなります。



### 寄稿

## 教化団体からの声



**組織拡充**  
山陰教区仏教壮年会連盟 理事長  
杉本健治

門徒推進員の皆様、日夜ご法義繁昌のためにご活躍のことと存じます。

私は中央教修九五回修了生です。真の修了生と言えるかどうか自問自答していますが、ただあの時に決意表明で述べた「仏教壮年会の活動に努力します」については微力ですが頑張っているところです。

私が山陰教区仏教壮年会連盟の理事長になって二年が経過しようとしています。基幹運動の中核になるとのことで出来た「仏教壮年会」そして「門徒推進員制度」です。山陰教区四四〇ヶ寺のうち教区に登録されている仏教壮年会は七七ヶ寺です。全国仏教壮年会では全国五三三組の全組に仏教組

連盟を、そして寺院数一〇三〇六ヶ寺の五十%に仏教壮年会をつくっていただきたく活動を展開しております。

山陰教区でも平成十七年度教区の基幹運動推進委員会の中に仏教壮年会を設立していただきました。平成十七年度は教区内の五ブロックの基幹運動推進会議で仏教壮年会をつくっていただきたいとお願いし「一通の手紙から」というリーフレットを配りました。また教区内の仏教壮年会の実態を知る意味で組の相談員さんを対象にしたものと、仏教壮年会の会長さんを対象にしたアンケートを実施いたしました。

仏教壮年会が出来ない理由についてはいろいろあり、過疎のため門徒数が少ない、門徒が高年齢の方が多い、住職さんの熱意、積極的な姿勢がほしい、会費の問題などもありました。

このアンケート結果を分析して平成十八年度は一組一ヶ寺の設立を目指して努力して行きたいと思えます。門徒推進員の皆様のご叱声、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

私の好きな歌  
「安かりし 今日の一日を よろこびて み仏の前に ぬかずきまつる」  
合掌

#### 登録番号416

- ①横川寛子 (よこがわひろこ) ②因幡組願正寺
- ③御院家さんと相談しながら、私のできることから、他の門徒の方々と連携を持ち、お念仏のよろこびの輪を広げていきたいと思えます。
- ④お寺さんの行事がある時は、出来るだけ、すすんで、又仏婦の活動のお手伝いさせて頂いています。
- ⑤私の周りの人も含めて若い人へのお寺へ近付いて頂くこと。

#### 登録番号417

- ①長谷川幸恵 (はせがわゆきえ) ②因幡組願正寺
- ③孫達と育てる事から始めたい。(考えられない様な事件が多い世の中に入り込むために心の修養が必要)
- ④お寺の行事の時のお手伝い、孫達とのおつとめ等
- ⑤法座の時のお参りが少い事

#### 登録番号418

- ①有田幸子 (ありたさちこ) ②出雲組通伝寺
- ③浄土真宗のみ教えを心の支えとして聴聞の輪を広めたいと思えます。
- ④仏教婦人会のお世話をさせて頂いています。  
年間の主な行事：初参、小学校入学報告法要、老婦人の集い、年2回の仏教婦人会担当の定例会
- ⑤定例の勉強会に若婦人の方々の出席が少ないこと。

#### 登録番号419

- ①日野晴子 (ひのせいこ) ②出雲組通伝寺
- ③1人でも多くの人々に法座のご縁に会っていただくようお誘いをしたいと思います。
- ④お寺の活動に積極的に参加しています。(お寺の法座、仏婦活動、毎月の定例会など)

#### 登録番号411

- ①川上隆子 (かわかみたかこ) ②神門組乗光寺
- ③お寺へもっと親しみを持って通いたい。
- ④所属寺院の行事のお世話、参加。
- ⑤近所と同じ門徒さんを、もっとお寺に親しみを持って行事とか奉仕に参加を呼びかけるが、なかなか効果が上がらない。(時間を掛けて努力をしたい)

#### 登録番号412

- ①川上吉之 (かわかみよしゆき) ②神門組乗光寺
- ③寺報「明光」の発行継続に協力する。
- ④寺報「明光」発行に協力、所属寺院の行事の世話、参加。
- ⑤まだわからない。

#### 登録番号414

- ①布野光宏 (ふのみつひろ) ②神門組長楽寺
- ③浄土宗を学び、そして全員聞法・全員伝道を目指して努力をしたい。
- ④先輩の門徒推進員がおられず基盤がなく、特に活動していない。
- ⑤門徒推進員としてのあり方、すべきことを把握する。

#### 登録番号415

- ①谷口益子 (たにくちますこ) ②因幡組願正寺
- ③人生の生き方をみ教えに問い聞き学ぶ
- ④寺で開催される行事、研修会へ近隣の方を誘って積極的に参加している。
- ⑤経験も浅く何をよいか分かりません。

## よろこび

山陰教区少年連盟理事長  
市山組長玄寺

## 岡本広樹

仏の子どもを育てることは、大切なことであり、子どもが少なくなってきた今だからこそ、その思いは相続していかねばならないことを、感じております。

子ども会のほとんどが、寺族を中心に活動されていますが、自坊では以前に、近所のご門徒さん自らが「子ども会を手伝わせてください」との声を頂き、四年前にご往生(六十五才寂)されるまでお世話をいただきました。特別な経験があるわけでもなく、指導をされるというより、子どもと共に阿弥陀如来様にお育てを頂ぐご縁として、また自らのよろこびとして、子どもと接しておられたそのお姿に、頭が下がる思いでした。

あるご講師が、今の時代一番大切なことは、「感謝」の心であるとお話しになりました。あたり前と受け止めがちですが、確かに、一番欠けてきた心であります。

言葉をかえると、「よろこび」が私のなかにない。人間に生まれて、これほど寂しいことはないでしょう。「私さえよければ」「人のことはどうだっていい」という私の心の向きに目を向けないかぎり、ますます心の貧しい時代を作っていくこととなります。それは、そういう子どもたちを作っていくことにつながっていきます。

寺院はご門徒さんによって支えられてきた歴史があります。何をすることも、寺族だけでは限界があります。あらためて、支えられることの有難さを感じ、その思いに報いていける日暮しを、考えねばと、教えていただくことであります。人と人とのつながりが、寺の生命線であることも、忘れてはならないことでもあります。

今後、教化団体における課題はたくさんありますが、人数や単位の増減ばかりに目を向けるのではなく、宗教の大切さ(感謝の心)を伝える活動を目指し、皆様と共に取り組んでまいりたいと、思います。

## 登録番号424

- ①多田豊子(たくだとよこ) ②出雲組妙寿寺
- ③お寺の行事がある時知り合いの門徒さんを誘って聴聞したいと思えます。  
お寺のお手伝いをしたいと思えます。
- ④お寺のお手伝い(報恩講の前日の準備等)  
知り合いの門徒さんに聴聞の誘いをしている
- ⑤門徒推進員としての実践の内容がよくわからない  
知り合いの門徒さんに聴聞の誘いをするけどなかなかお寺に参ってもらえない

## 登録番号425

- ①西尾恵子(にしおけいこ) ②出雲組妙寿寺
- ③お寺の行事がある時、知り合いの門徒さんを誘って聴聞したい。  
お寺のお手伝いをしたい  
仏教婦人会の未加入者に組織への参加をすすめたいと思えます。
- ④知り合いの門徒さんに聴聞への声がけをしている。  
家族と共に1日1回は勤行をするようにしている。
- ⑤知り合いの門徒さんに聴聞のおすすめをしてくださるけどなかなかお寺へお参りしてもらえない。  
門徒推進員としての実践内容がよくわからない。

## 登録番号426

- ①榎野博巳(まきのひろみ) ②出雲組妙寿寺
- ③お寺の諸行事に積極的に参加したい
- ④広報誌「無量寿」の編集
- ⑤仏教壮年会の活動に多数の門徒の方に参加していただきたい。

## 登録番号420

- ①日野久夫(ひのひさお) ②出雲組通伝寺
- ③お寺の行事に積極的に参加し、子、孫に影響を与える行動をとる。
- ④お寺の行事に参加。委員(監事)
- ⑤お寺の行事に対して門徒の人々に案内してもなかなか出席してもらえない。

## 登録番号421

- ①足立一博(あだちかずひろ) ②出雲組妙寿寺
- ③私は「基幹運動」に積極的に取り組みます。
- ④仏教壮年会の地域の役員として活動させてもらっています。
- ⑤人、一人、地域別、宗門、お寺、仏事に関して考え方の異なる中で、どのように役目を果たせるか、独り善がりにならないか心配しています。

## 登録番号422

- ①高橋 稔(たかはしみのる) ②出雲組妙寿寺
- ③お寺、地域とのかかわりを大切にしたい。
- ④お寺の行事・法座等に参詣して聴聞する。
- ⑤「基幹運動の推進」という大きな課題に向って、どのように活動できるだろうか。

## 登録番号423

- ①高橋守雄(たかはしもりお) ②出雲組妙寿寺
- ③聴聞を重ねさせていただき、お寺の行事に皆様に誘い参加させていただきたい。
- ④仏教壮年会の地域の役員として活動させてもらっています。
- ⑤特になし

寄稿

新会員の声



門徒推進員として思うこと

松江組 明宗寺

穴戸芳子

第一六四回中央教修を修了し、推進員の仲間入りして、そろそろ一年目を迎えようとしています。季節的にも厳寒の最中、身の引き締まる思いをしたのは、何も寒さだけのせいではなく、本山での凜としたおつとめであったと今でも思うところです。朝六時三十分の晨朝参拝に始まり、感動した『決意表明式』とみ仏に見守られた教修の中で得られた大きな財産を糧に、今の私は聴聞に励み、自分出来ることをお手伝いさせていただきます。

所は前の真中、そして一番年月を感じる処は端である」と話された講師の方の言葉が印象的でした。頭では理解出来ても、実践することの難しさを感じている今頃です。多くの門徒さんが心安らぐ場をもとめてお寺に参詣される際、温かい気持ちで言葉を交し合えるような雰囲気になるよう、推進員として、努力、研鑽の積み重ねが必要だと痛感しています。

まず自分を変えねばならないと思いつつ、一年生のよちよち歩きですが、周囲の皆様方の御指導をいただき、元氣でお念仏のみ教えを聞くことが出来ることに感謝し、その幸せを門徒の皆様にも念仏することの大切さをお伝えしようと心掛け、推進員としての自覚を新たにしているところです。

月日が経過するにつれ、今こうして静かにお念仏をよりどころに思うことは、阿弥陀さまの『すべて平等、お互いの立場や生き方を認めあいがら生きること』のみ教えを噛み締めている今の私です。

テレビのスイッチを入れると暗いニュースの多い昨今です。幼子がいとも簡単に命を奪われていく、また若者のニート問題、こうした混迷する現代社会を少しずつでも明るい社会になるようにお寺を中心に、ご住職、坊守様のご指導を仰ぎながら、私達は、聴聞に励み、門徒の皆様が如来さまの大悲につつまれて、生かされている喜びを味わわせていただける場(寺)であることを伝え、一人でも多くの門徒の方との出会いを願っています。

「中央教修を受けて思うこと」

出雲組 妙寿寺

湯浅 きよ子

平成十六年十二月初め、中央教修にご縁を結ばせていただき、あれから一年が来ようとしています。門徒推進員として、私に何が出来たのか、今一度振り返ってみたいと思います。

出雲組の組連研は平成元年に受講しており、中央教修を受講するにあたり十六年間のブランクは私にとつて不安でした。ある方が「気楽に楽しんで来て下さい」と言われた。その言葉で不安な気持は一瞬にして消えました。私は何をそんなに気負っていたのかと思えました。おまかせの身であることに気づかさせていただきました。

中央教修は三泊四日のハードスケジュールではありましたが、とても充実した四日間でした。講師の先生方の適切なアドバイス、気づき、やさしさはありがたく、もったいないの一言です。仲間の四十五人も初めてお会いしたとは思えないほど打ち解けて、誰とでもお話が出来、友好を深められた事が、すばらしいと思えました。同じ班の方のお寺では、仏教讃歌がご縁でお寺にお参りする様になったとお聞きし、すてきな事だと思えました。私のお寺も若婦、仏婦にお誘いしても入会してもらえない。仏教讃歌の本の中で「娘たち

よ」が特に私には印象に残った、すばらしい讃歌があるのにお寺から楽しい歌声が聞こえたらどんなに良いだろうなと思った。ピアノを弾く人はゲットしたのであとは歌う人と思っております。これが私の夢かな?

門徒推進員になって現在している事はお寺の法座が年十回位あります。その準備、あと片づけ、お手伝いをしております。もっぱら私は掃除が主であります。

毎日朝夕のおつとめも心がけております。仏壇の前に座ると心がなごみます。こち良い場所です。「食事のことば」も孫が来ると私の真似をします。私がいなければ何も始まらない、何も出来ない。

これからも聴聞に励み念仏生活にがんばりたいと思います。 合掌

門徒推進員になって

出雲組 妙寿寺

高橋 稔

今年一月、住職様より「門徒推進員」を養成する出雲組連続研修を受けてみないかと、お勧め下さいました。いくらか不安もありましたが、自分にとつて研鑽のよい機会であり、思い切つて「連研」を近郊のお寺を会場にして、仏教一般・真宗の教え等六ヶ月間に渡り受講しました。

そして、さらに深く浄土真宗本願寺派のみ教えを学んで、自らの門徒としての姿勢を築いてゆくために本

願寺に於いて、三泊四日の日程で門徒推進員中央教修を受講しました。三日目の決意表明式では厳肅な雰囲気の中で、阿弥陀如来さまの御前で誓いの言葉を申し上げました。私にとって、とても緊張した時間であり、忘れる事のできない日となりました。誓った事を心に留め、これから門徒推進員として、お寺の行事・地域の活動に積極的に参加し、自分にできることを一生懸命にやり、少しでも役立つことができたいと思います。

この頃、如来さまを拜んで念仏を称えたり、お経を読んでお参りしている日々が多くなり、心静かな時間が持てるようになり、明るい気持ちになりました。

しかし、念仏を称えるだけではなく、お寺で開かれる聞法の間、法座へ参詣して聴聞することが大切だと思えます。お寺へ参る、仏壇へ参るのは、如来さまを礼拝するということでは同じ内容ですが、聞法することができることはお寺へ行くことによつて共に仏縁にあうことを心がけたいものです。

## 「私」にだけあること

出雲組 東林寺

岸 本 邦 夫

第一六四回中央教修と第四連区門徒推進員研修で、「差別」と「平和」についての話し合いがあり、それ等

に対し私自身の考え方が非常に大切であることに気付かされました。

私は、差別も戦争も人の世から無くなることはないと考えていました。中央教修では講師先生から「差別は〇〇%無くなると思わない」と運動は成り立たない、無くならないと思った時点で運動は止まる」と、また連区研修で平和について講師先生は「戦争は無くなることはない」「いずれいつかは無くなる」などの考えには「私」というものがない。無くならないのではなく「戦争をなくすには私はどうすればよいのか」を考えていかねばならないと聞かされました。

このことは、あらゆる問題に対して私はどうすればよいのか、私に何ができるのかを問わないと何も解決せず前進しないということであります。このことをこれからの活動の中でしっかり受け止め取り組んで行きたいと思えます。

## 仏のちやうとて

邑智西組 安楽寺

屋 原 貞 子

私は連研に御縁があるまでは、合掌は出来ても、心から念仏が申せませんでした。組長様方の御配慮により、中央教修にまで進ませて頂き「釈稱徳」と仏の子としての証を頂戴しました。「二人でも多く、お寺の聴聞にお誘いする」「讃歌のグループを決起する」と二つの決意表明をしました。

再び思いがけない御縁で「平成十七年度第四連区門推研(山口)」に参加させて頂きました。新米の私に対し、先輩推進員の皆様の温かいお導き、講師、季平先生との懐かしい再会「仏教と憲法九条」の本との出会い「念仏者と九条の会」のある事を知り不安な世情に心を痛めておりました所、大変心強く光明を頂いた次第でございます。これからも話し合い法座を続けて行きたいと念じております。

## 新入会員紹介

浜田組 覚永寺

砂 川 幸 子

節目でもある停年を迎えた私は基幹運動としての取組み浜田組の連続研修実施案内のチラシに私の心が向き合いました。夫の今は亡き父は事ある如に覚永寺に通つて居る様子も余り気にもしなかつたけれどやはり父の生きて来られた姿が私の心を向き遇わせられたとも思われ父が有難い存在だったと痛感せしめられた。仏教について知りたい一念で連研に受講をし中央教修にまでご縁をいただき非常に戸惑いながらも人生経験をさせて頂き感激と感謝の念で一杯です。門徒推進員の一人としての自覚を持ちお念仏の輪を広めるお手伝いをする念を深めるには先ず自己研鑽は聞法だと聴聞のご縁を大切に心がけ浄土真宗の教えには判らない事が多いので聖典を通しての法話会に

と私を育てて頂いています。

## 今聴聞する事が大事

因幡組 願正寺

足 利 八 千 代

私達の生れ育った村は神棚もない浄土真宗門徒ばかりで、また妙好人源左さんの生れた所です。小さい頃は祖母や母に手をひかれお寺参りをして育ちました。

仏教青年会に誘われたのが御縁となりお寺でのいろんな活動や、仏教婦人会に参加させて頂き、聴聞とお手伝いをさせて頂いています。住職様に声をかけられ連研を受けました。感激をしておりました所中央研修の参加のおすすすめを頂きました。参加をしてみると若い時に聴くと言う事の大事さを感じました。お念佛の力は有難いなあ、お念佛一つで阿弥陀様のお救いのお働きにあずかっていると味わいました。中央研修を受けて因幡組では初めての門徒推進員の一人となった今、この喜びを一人でも多くの人に味わってもらいたいと思っています。そのためには推進員になる事を勧める呼びかけ声かけが一番必要ではないかと思えます。私は勿論皆様方々にも呼びかけをお願いします、今聴聞をする事が大事である事を忘れずに寺院での活動や、色々と考えて下さっておられる住職様、坊守様のお手伝いをさせて頂きたく思っています。

# 同朋の広場

## 共に語ろう

### ご縁さま

温泉津組 敬願寺  
釜瀬 昭子

「遇行信を獲ば遠く宿縁を慶べ」今年も報恩講さんが近隣のお寺さんで勤まりになり御陰さまでご縁が恵まれています。「如来ご回向のナンマンダブツ」如来さまの御心をこの只今にお届け下されたご開山さまのご恩があればこそ教えに遇わせて頂けました。六年七月五十歳と十日の人生を急いだ弟、そして何年も看病できると思っていた七年五月に母逝去、悲しい別れは大きな出遇いの始まりでした。東京ご在住の先生や諸先生方のご縁を頂きお育てを蒙り、中央教修受講のご縁となりました。門推員諸先輩はそれのお立場でご活躍なさっていますのに名ばかりの門徒でお恥ずかしい限りであります。「生まれ難い境界 人間に生まれさせたまふた 遇い難い仏法に み教えに遇わしめ給ふて 名呼ばしめたまふた 南無阿弥陀佛」

幾度も呑み込んだ冷たい泪が、溢れ出た熱い泪も、全てのが大事なご縁さま、一つ一つが賜りものでありました。

合掌

## 組の活動

### 真宗の要はお念仏

浜田組 順興寺 河野 久

浜田組門推員協議会が発足して早や六年。門推員の自覚研鑽を深める実践として、十四年より宗祖八十五才以降とみられる最晩年の信境、本願念仏の讃仰のお気持ちと同様の「三帖和讃」を聴講した。顕正寺住職幡谷明師（大谷大学名誉教授）宗祖のご命日二十八日を縁日として毎月欠かさず受講し、「聞其名号 信心歡喜」浄土真宗の要は「ただ念仏より。ほかなきなり。」約三年余りの法話に依る「ひびき」に領き、宗祖の偉大さに更めて身に染み入り驚きのなかに充実したご縁であった。宗祖聖人は法然上人に善智識として値遇された。門推員も一人々がよき人の仰せを被わり只ら信従出来る出遇いが求めせしめられるのではなからうか。聴聞は聞けば聞くほど聞きたくなる。いたたく諸仏の声を聞きたい法の声が聞き止まらない心と申すことが門推員たる念仏者としての姿でありたいと。

南無

### 飯石北組門徒推進員の活動状況

飯石北組門徒推進員事務局  
山田 稔貴

飯石北組門徒推進員は佐田・掛合・三刀屋地区の三ブロックに分け二十五名の全員で活動しています。二年ごとに役員交替で今年も三刀屋地区が当番となり善徳寺が担当する事になりました。広澤会長を軸に事務局、各ブロックの班長三名の五名で役員構成されています。今年四月十日善徳寺で総会及び研修会を行い本年度の事業活動計画が承認されスタートしました。山陰教区総会、研修会への参加、四連区研修会への参加、ご正忌報恩講への参拝、北組門徒推進員の研修、交流会への参加を活動計画に立て、去る六月十九日出雲農済組合会館で山陰教区総会及び研修会があり七名出席、法座方式で意見交換を行い各テーマについて意見発表があり参考になりました。次に先般十月二十二日北組門徒推進員の研修会を善徳寺住職様の法話を聞きました。その後場所を変えて交流会に移りにぎやかに盛り上がりました。当日は十五名の参加があり今後の門推活動に対し皆で協力し取り組んで行く事でまとまりました。今後に期待したいと思います。

## 編集後記

▽会報「ともしび」第七号をお届けします。皆様よりたくさんのお手紙をいただきまして、ありがとうございます。▽続々と門徒推進員さんが誕生しています。新たに三十五名が登録、只今十九名が「中央教修」申し込み中です。▽例えば、専門家というのは、知識、技術、経験などを身につけ、国家試験などに合格して資格を得ます。これは「自己を高める」という道でしょう。しかし専門家になつたら、今度はその道を極めるといふ歩みが始まります。「専門家になつたから(名実共に) 専門家になる」ということが本当に大切なことです。門徒推進員さんも同じだなぁと思います。活動を通して自己を深めてまいります。 (合掌)

二〇〇五年四月一日〜二〇〇七年三月三十一日

役職	氏名	組名	所属寺院
会長	松浦 靖	松江	明宗寺
副会長	河野 久	浜田	順興寺
会計	上田 克夫	神門	長泉寺
理事	安部 賀就	神門	乗光寺
理事	郷原 武雄	出雲	通伝寺
理事	今岡 力	出雲	源光寺
理事	柳原 陽二	飯石南	一念寺
理事	広沢 英雄	飯石北	善徳寺
理事	上田 正吉	温泉津	敬願寺
理事	田中 圓而	大田	常見寺
理事	小松 満雄	邑智西	淨蓮寺
理事	坂本 光弘	出雲	妙壽寺
監事	名免良 広秋	松江	真光寺
監事	景山 三郎	飯石南	一念寺
参与	日野 実	出雲	源光寺
参与	遠藤 英逸	神門	善福寺